

# サステナビリティマネジメント

## 考え方

IHIグループは「グループ経営方針2019」において、取り巻く社会環境の変化を踏まえ、長期視点で持続可能な社会の実現に貢献するIHIグループの「目指す姿」を定義しました。この「目指す姿」の実現に向けて、社会とお客さまの課題に真正面から取り組み、新たな価値を創造していきます。

## 体制

### ●サステナビリティ推進体制

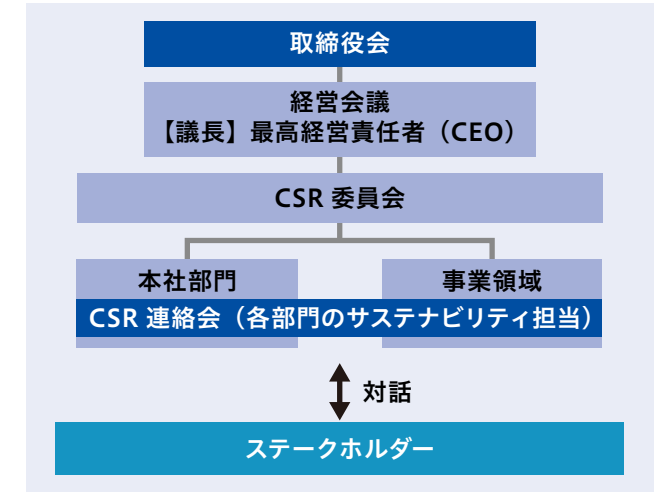
#### ●CSR委員会

IHIグループは、社長を委員長、CSR関連事項担当役員を副委員長、事業領域や本社部門の部門長を委員としたCSR委員会を設置し、この委員会を中心にサステナビリティ推進体制を構築しています。

CSR委員会では、経営幹部が社会課題やステークホルダーからの期待について考え、サステナビリティに関する基本方針やその施策などを討議しています。

CSR委員会での決議事項は、事業領域や本社部門の基幹職で構成されるCSR連絡会で展開され、具体的な施策を推進しています。

## サステナビリティ推進体制図



委員長	社長
副委員長	CSR関連事項担当役員
委員	取締役、事業領域長、統括本部長、本社本部長、本社部長から委員長が指名するもの
事務局	経営企画部
2019年度の開催回数	1回

## サステナビリティマネジメント

### 取組み

#### ●ステークホルダーとの対話

IHIグループは、企業活動を継続する上で影響の大きいお客さま、お取引先、株主・投資家、行政、地域社会、従業員を主要なステークホルダーととらえています。その考えのもと、ステークホルダーとの対話をさまざまな方法で実施しています。対話のためのツールとして「統合報告書」や「Sustainability Data Book」を発行しています。なお、重要と考えられる対話内容については経営会議や取締役会に報告し、経営戦略に反映しています。

#### ステークホルダーとの対話実績

ステークホルダー	対話の主な目的	2019年度に実施した エンゲージメントの一例	頻度	参照
お客さま	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会とお客さまの課題解決への貢献</li> <li>● 製品安全</li> </ul>	・顧客満足度調査	適時	P.40 <b>お客さま満足度の向上</b>
		・テレビCM, 新聞広告, ウェブサイト	適時	
		・製品安全情報の提供	随時	
お取引先	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公平・公正な取引</li> <li>● お取引先との相互繁栄</li> </ul>	・IHIグループ調達基本方針に基づくお取引先へのお願い	都度	P.55 <b>サプライチェーン・マネジメントの強化</b>
		・サプライヤー表彰	年1回	
株主・投資家	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適時・適切な情報開示</li> <li>● 信頼関係の強化</li> <li>● 企業価値の向上</li> </ul>	・株主総会の開催	年1回	web <b>株主・投資家情報</b>
		・決算説明会, テレフォン・カンファレンスの開催	年4回	
		・事業領域説明会の開催	年1回	
		・個別ミーティングの実施	随時	
		・株主さま向け工場見学会の開催	年2回	
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 官民連携</li> </ul>	・政策審議会への参加	適時	P.14 <b>イノベーションマネジメント</b>
		・官民共同開発・プロジェクト参画	適時	
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会の一員であることの自覚</li> <li>● 社会課題の解決への貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会向けイベントの開催</li> <li>・出前授業の実施</li> </ul>	適時	P.58 <b>地域社会との共存共栄</b>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最も重要な経営資源である人材の育成・確保</li> </ul>	・従業員への教育	随時	P.41 <b>人材マネジメント</b> P.48 <b>多様な人材の育成 (人材育成)</b> P.25 <b>コンプライアンス</b>
		・従業員意識調査	年1回	
		・コンプライアンス・ホットライン	都度	

## サステナビリティマネジメント

### ●IRおよびSR活動の考え方

IHIグループは、株主・投資家への適時・適切な会社情報の開示が健全な金融商品市場の根幹をなすとの認識のもと、株主・投資家の皆さまと信頼関係の強化を図るため、IR（インベスターリレーション）活動とSR（シェアホルダーリレーション）活動を積極的にこなっています。

情報開示については、透明性の高い経営の全社的推進を基本理念に、資本市場関係者に対して、経営または業務に関する重要情報を、常に株主・投資家の視点に立ち迅速・正確・継続的・公平に開示しています。そして、経営の方向性と主要な業務について、誠実に説明責任を果たすことを基本方針としています。

### ●適時・適切な情報開示

IHIグループは、各種開示資料の充実を図り、その内容をインターネットで配信するなど、積極的に公平な開示に努めています。

また、国内だけでなく海外投資家の皆さまにもIHIグループの事業活動への理解を深めていただけるよう、積極的なIR活動を行なっています。

2019年度は前年度に引き続き、経営層が北米・欧州・アジアにおもむき、現地の機関投資家の皆さまと直接コミュニケーションを図る機会を設けました。

訪問した投資家の皆さまからは「業界におけるIHIの立ち位置、競合状況、今後の成長機会を理解する上で有益なミーティングだった」、「社長にはすべての質問に丁寧に答えていただき、感謝している」との声をいただきました。

### 2019年度の実績

対象	主な対話内容	詳細
アナリスト・国内機関投資家の皆さま	決算説明会の開催（第2四半期決算および期末決算の発表時）	毎回約100名の皆さまにご参加いただき、当該期間の決算の内容と「グループ経営方針2019」の進捗状況などについて、説明しました。
	テレフォン・カンファレンスの開催（第1四半期決算および第3四半期決算の発表時）	
	事業領域説明会の開催	各事業領域長から「グループ経営方針2019」の事業領域戦略を説明しました。
海外機関投資家の皆さま	個別訪問やカンファレンスへの参加、個別取材への対応など	のべ約170社の海外投資家の皆さまと、コミュニケーションの機会を設けました。
個人株主の皆さま	情報提供サービスにご加入いただいた株主さま向けに工場見学会を実施	相馬事業所および横浜事業所で工場見学会を実施しました。また、「IHI統合報告書2019」を送付しました。